

トップメッセージ



社長に就任して1年が経ちました。この1年私はできる限り現地に出向き、支社や国内外グループ会社で働く職員と直接話すことに特に力を入れて取り組んできました。その中で、私からは日本生命グループが目指す社会や長期的に目指す企業像、その実現のためにグループ全員で共有する基本方針に込めた思いを直接伝え、現地の職員からは現場で何が起こっているかを中心に思いを直接聞くことができました。グループとして大切にしていけるべき共通の価値観を根付かせていくことの重要性について改めて認識した1年でした。

今年度は、計画の最終年度として、「現中期経営計画の完遂と、中長期的な成長ベクトルをさらに引き上げていくための対応に、最優先で取り組む1年」と位置付け、とりわけ我々の事業の根幹である国内保険事業のバリューアップを最重要事項として、全部門・グループの総力を結集して取り組んでいきます。

当社グループが目指すサステナビリティ経営とは、社会に提供する価値の拡大と当社グループの成長を両立させ、その好循環を実現することです。私たちの活動によって、社会全体のWell-beingを向上させること。このことこそが私たちが目指す『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』を実現することにつながる。最終的にはこの考え方をグループの全役員・職員一人ひとりに信じてもらい、実践してもらえよう社長として尽力したいと考えています。

代表取締役社長 社長執行役員
朝日 智司

数字で見る日本生命

お客様数
1,534万名
※国内グループ(2025年度末)

顧客企業数
34.9万社
※国内グループ(2025年度末)

預かり資産
145兆円
※グループ(2025年度末)

内部モデルESR
195%
※グループ(2025年度末)

基礎利益
1兆3,016億円
※グループ(2025年度)

お客様配当性向
66%
※日本生命単体(2025年度)

創業年
1889年

従業員数
172,869名
※連結(2025年度末)

国内営業拠点数
106支社等
1,434営業部
※日本生命単体(2025年度末)

2026-1728G,サステナビリティ経営推進部

「日本生命 統合報告書2026」ダイジェスト版



当社は、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指し、「人」「地域社会」「地球環境」の3領域でサステナビリティ向上に取り組んでいます。

オフィシャルホームページからもご参照いただけます。是非、ご覧ください。



日本生命グループの企業理念

経営基本理念

「国民生活の安定と向上に寄与する」

サステナビリティ経営の高度化を通じて
『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』
を目指す



長期的に目指す企業像

生命保険を中心に
アセットマネジメント・ヘルスケア・
介護・保育等の様々な安心を提供する
“安心の多面体”としての企業グループ



グループ全員で共有する価値観

三信条「信念・誠実・努力」

基本方針
「まっすぐ、お客様へ。
もっと、地域、社会のために。」



日本生命グループのサステナビリティ経営と主な取り組み



さまざまなリスクにお応えする生命保険の提供と確実なお支払い、子育て・青少年育成、ヘルスケア、資産形成、介護など、ひとりでも多くの人生に、寄り添い続けます。

創業来、当社が取り組んできた生命保険の提供をはじめ、NISSAY ペンギンプロジェクトやニッセイ医療費白書、金融教育、Gran Age プロジェクト等のサービス提供を通じて、一人ひとりの人生に長く寄り添うために安心の多面的な提供を進めています。

地域社会

地域の一員として、地域の課題解決に繋がる取り組みに積極的に参画し、活力あふれるコミュニティづくりに貢献します。

47都道府県*との包括連携協定等に基づき、交通安全啓発活動やがん啓発活動、健康サポート活動、ビジネスマッチング、スポーツ教室、社会貢献活動等、各地域の社会課題に応じたさまざまな取り組みを進めています。

* 2026年3月末時点

地球環境

機関投資家としての責任ある運用を通じて、気候変動をはじめとする社会課題の解決や豊かな地球環境の基盤づくりに貢献します。

事業者として、日々の業務・活動におけるCO₂排出量の削減に取り組んでいます。また、機関投資家として、投融資先企業から排出される温室効果ガス(GHG)について、2050年ネットゼロ目標に向けて、「対話」と「資金提供」を軸に企業の取り組みを後押ししています。

アウトカム目標		
目標項目	2025年実績	2035年目標
お客様数 (国内グループ)	1,534万名	1,700万名
顧客企業数 (国内グループ)	34.9万社	37万社
お客様満足度 (日本生命単体)	92.5%	90%以上
預かり資産 (グループ)	145兆円	140兆円
ニッセイ版 健康寿命 (日本生命単体)	男性 71.50歳* 女性 73.77歳* *2023年実績を記載	対'23比 2歳延伸 男性 73.50歳 女性 75.77歳

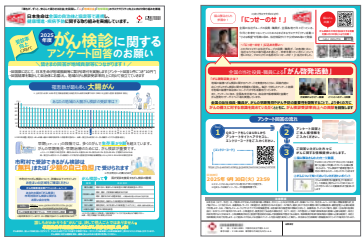
目標項目	2025年実績	2030年目標	2035年目標	2040年目標	2050年目標
CO ₂ 排出量 (グループ)	▲34.9% [対'13比]	▲51%以上 [対'13比]	▲60%以上 [対'13比]	▲73%以上 [対'13比]	ネット ゼロ
	スコープ 1・2*	▲80.0% [対'13比]	ネットゼロ	(ネットゼロ)	
	再エネ 比率*	79.1%	100%	(100%)	
GHG 排出量 (日本生命 単体)	総排出量	▲54.4% [対'10比] ▲48.6% [対'13比]	▲45%以上 [対'10比]	▲60%以上 [対'13比]	▲73%以上 [対'13比]
	インテンシ ティ	▲48.8% [対'20比]	▲49%以上 [対'20比]	—	—
GHG削減寄与量 (日本生命単体)		年532万t	年1,500万t	—	—

* 日本生命単体・自社契約電力分

地域振興アンケートの実施

当社は、地域と共にサステナブルに発展・成長していくことを目指し、地域振興の取り組みを営業職員活動の基軸に据えています。営業職員が、地域のお客様を対象に、交通安全啓発・がん啓発・地域の健康サポートの3つのテーマについて、それぞれ年1回、計年3回のアンケートを実施し、ご回答の内容に応じたパーソナライズされた情報提供やコンサルティングを通じて、地域の皆様自身の行動変容を促しています。また、集計・分析した結果を自治体にフィードバックし、行政施策への反映にもつなげています。2025年度は、3つのテーマ全体で、前年度の約2倍となる400万名を超えるお客様にご回答いただきました。

中でも2023年度から続くがん啓発の取り組みは、2025年度から「ニッセイがん啓発プロジェクト」へと発展させ、がん検診の受診勧奨やお届けする情報の高度化を進めています。2年連続でアンケートにご回答いただいたお客様のがん検診受診率が向上する等行動変容につながっており、2026年度もこれらの取り組みを通じて、全国のお客様・地域の皆様への社会的価値の提供に努めていきます。



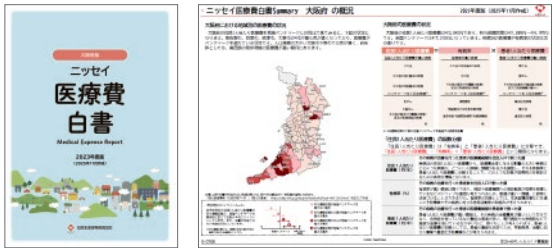
「ニッセイ医療費白書」の作成・刊行、全国の自治体へのお届け

当社は、匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)*を活用し、各自治体の医療費を分析したレポート「ニッセイ医療費白書」を刊行しました。疾病ごとの有病率、患者1人当たり・住民1人当たりの医療費を集計し、性別・年齢による調整を行うことで、高齢化率などの影響を除いた、その地域固有の医療費課題を可視化しています。これにより、地域ごとの医療費傾向をわかりやすく分析でき、自治体の政策立案や住民の皆様の健康づくりにお役立ていただけます。

2025年度は、各都道府県・人口1万名以上の市町村・東京都特別区を対象に、全国1,252の自治体へ当白書を無償で提供したほか、47都道府県ごとに医療費の特徴を解説するWeb説明会も実施しました。

今後も、当白書のお届けに加え、地域住民の健康リテラシー向上に資する取り組みを通じて、地域のステークホルダーの皆様と共に、健康寿命の延伸に貢献していきます。

*匿名医療保険等関連情報データベース(National Database of Health Insurance Claims)。2008年4月から施行されている「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、医療費適正化計画の作成実施および評価のための調査や分析などに用いるデータベースとして、レセプト情報や特定健診・特定保健指導情報などを格納・構築しているデータベース



責任投融資の推進

当社は、保険金・給付金のお支払いや契約者配当といったお客様への経済的な保障責任を全うするだけでなく、社会課題の解決にも能動的に、責任を持って貢献したいと考えています。こうした考えのもと、機関投資家として当社が行う投融資を「責任投融資」と呼んでいます。



具体的には、投融資の判断にあたって、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の要素を考慮し、投融資先である各企業・団体等の取り組みを、「対話」と「資金提供」の両面から後押ししています。この責任投融資を通じて、契約者の皆様からお預かりした資金を社会課題の解決に生かし、持続可能な社会の実現を目指しています。

当社は創業以来、「共存共栄」「相互扶助」という生命保険事業の基本精神のもと、お客様の利益を最優先に考えてきました。「安全性」「収益性」に加え、社会の「公共性」にも貢献できる投融資に長期的な視点で努めており、責任投融資は、こうしたこれまでの考え方とも本質的に共通しています。

